

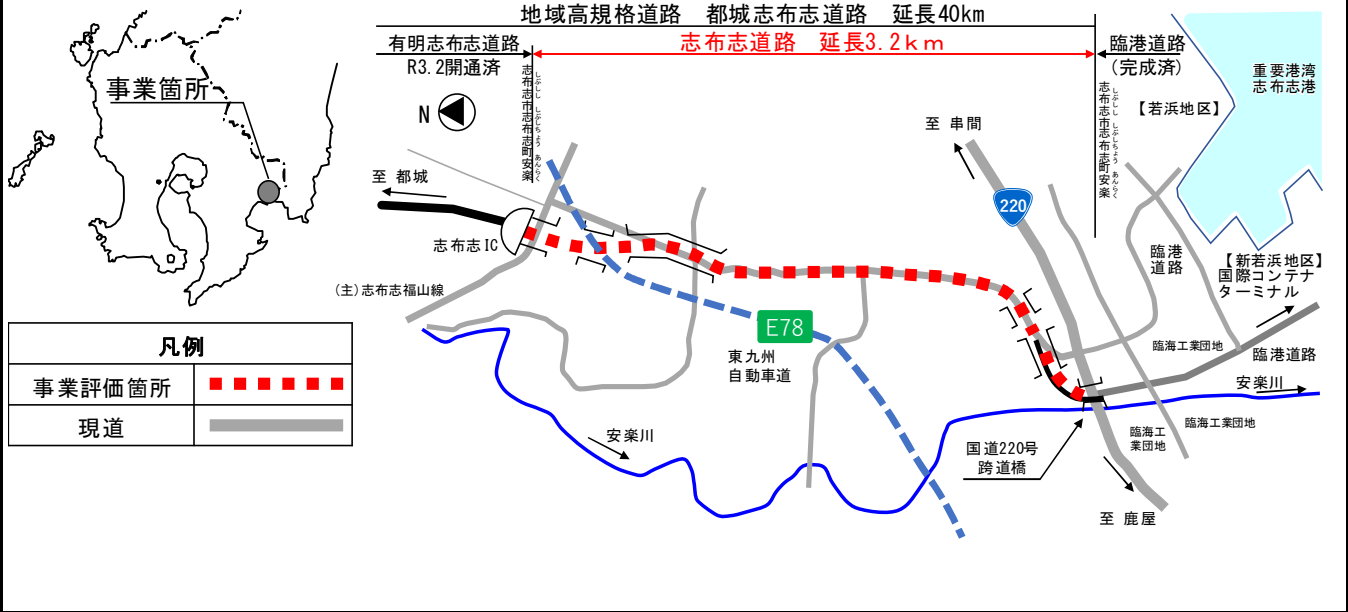
## 再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：道路局環境安全・防災課

担当課長名：高松 諭

<b>事業名</b> 地域高規格道路 <small>みやこのじょう</small> 都城志布志道路 主要地方道 志布志福山線 志布志道路	<b>事業区分</b>	地方道	<b>事業主体</b>	鹿児島県
<b>起終点</b> 自：鹿児島県志布志市志布志町安楽 至：鹿児島県志布志市志布志町安楽			延長	3.2 km
<b>事業概要</b> 志布志道路は、都城志布志道路の一部を構成し、九州縦貫自動車道、東九州自動車道と一体となった交通ネットワークが形成され、大隅半島における地域の物流及び交流の活性化が図られる。				
H23年度事業化		都市計画決定 無し		H23年度用地着手
H26年度工事着手		— km		
<b>全体事業費</b>		205億円		<b>事業進捗率</b>
<b>計画交通量</b>		約72% 供用済延長		
10,200~12,800台/日				
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C	<b>総費用</b> (残事業)/事業全体 77/198億円 〔事業費：77/198億円 維持管理費：0.6/0.6億円〕	<b>総便益</b> (残事業)/事業全体 209/209億円 〔走行時間短縮便益：176/176億円 走行経費減少便益：27/27億円 交通事故減少便益：6.4/6.4億円〕	<b>基準年</b> 令和4年
(事業全体) 1.1		(残事業) 2.7		
<b>感度分析の結果</b> (事業全体)交通量 : B/C=1.0~1.2 (交通量 ±10%) (残事業)交通量 : B/C=2.4~3.0 (交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.0~1.1 (事業費 ±10%) 事業費 : B/C=2.5~3.0 (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.0~1.4 (事業期間±20%) 事業期間 : B/C=2.6~5.4 (事業期間±20%)				
<b>事業の効果等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域交通ネットワークの構築</li> <li>・物流効率化の支援（志布志港の物流機能と一体となり、畜産物の生産拡大や木材の輸出促進等による経済の活性化）</li> <li>・災害への備え（第一次緊急輸送道路としての位置づけ）</li> <li>・生活環境の改善（大型車の転換による沿道環境の改善）</li> </ul>				
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 志布志市をはじめとする3市で構成される都城志布志道路建設促進協議会（会長：都城市長）等により早期整備の要望を受けている。				
<b>事業評価監視委員会の意見</b> 事業継続を妥当と認める。				
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都城志布志道路の乙房IC～横市ICが令和4年3月12日に開通した。</li> <li>・東九州自動車道の鹿屋申良JCT～志布志ICが令和3年7月17日に開通した。</li> </ul>				
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ・用地進捗率約99%、事業進捗率約72%				
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き用地買収に努め、早期供用に向け事業進捗を図る。				
<b>施設の構造や工法の変更等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁工において、地質調査の結果に基づき基礎形式を変更した。</li> <li>・コンクリート二次製品の積極的な活用や再生骨材の採用等により、コスト縮減に努める。</li> </ul>				
<b>対応方針</b>		事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。